

平成30年度 第1回長南町地域公共交通活性化協議会

長南町巡回バス

実証運行報告

日時：平成30年6月27日（水）

場所：役場本庁舎2階第1会議室

長南町巡回バスの実証運行報告について

長南町巡回バスの実証運行については、長南町地域公共交通活性化協議会（道路運送法第9条第4項、道路運送法施行規則9条第2項に基づく協議会）において承認を頂き、平成30年1月4日から運行している。

長南町地域公共交通活性化協議会において、巡回バス実証運行の運行状況を報告し、運行改善に関する検討をし、本格運行へ移行することを目的とする。

1. 長南町巡回バスの実証運行までの経緯

平成16年3月	巡回バス事業実施 町役場を起点として、町内全域を4路線に分け、現行の路線バスと極力競合しないようルート設定し、マイクロバス2台で運行。
平成20年度	利用者が13,119人とピーク
平成22年度	利用者が9,527人に減少
平成23年度	「長南町地域公共交通総合連携計画」の策定 デマンド交通の導入を検討
平成24年1月	デマンド乗合タクシーの実証運行開始（1月10日～）
平成24年4月	巡回バスの運行台数を2台から1台へ。
平成24年10月	デマンド乗合タクシーの本格運行
平成28年度	「長南町地域公共交通網形成計画」の策定 利用者の半数を児童が占めている巡回バスについて、統合小学校開校に伴うスクールバス運行で利用者の減少が予想される巡回バスや、路線バスの利用者減少に伴う今後の路線バスの休廃止等、厳しくなる公共交通事情に対して、全ての公共交通モードを含んだ地域公共交通ネットワークの再構築を図る必要があるため、国の調査事業を活用し策定。 巡回バスについては、利用者は減少しており、自家用車に対する依存度は高いが、高齢化に伴う将来の移動手段に対する心配（将来的な公共交通需要）により運行の効率化により存続を位置づけた。【網形成計画P84参照】
平成29年3月	路線バス茂35系統の休止（長南営業所～上永吉経由～茂原駅）
平成29年4月	統合小学校開校に伴いスクールバス運行開始
平成30年1月	巡回バス実証運行開始（1月4日～） 巡回バスについて、運行経路、運行時刻、バス停留所、自由乗降区間を変更し運行開始。
平成30年3月	路線バス茂33系統の廃止（長南営業所～給田経由～茂原駅）

2. 実証運行の利用結果について

○平成30年1月4日から実証運行開始

- ・運行開始から約6カ月（H30.1～H30.5）間で、一日平均9.49人の利用があった。
- ・昨年度前月比（見直し前）と比較すると、利用者は、全体的に減少傾向である。
- ・運行開始直後は、利用者が少なかった。

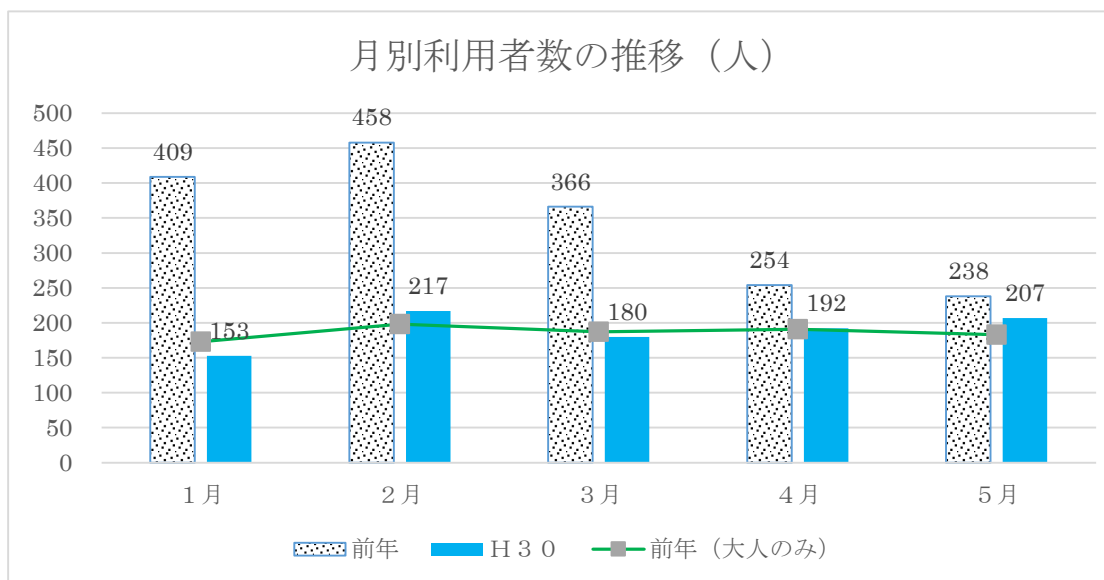


図1. 実証運行の月別利用者数の推移（H30.1.4～H30.5.31）

月	平成30年			平成29年		
	全体	大人	運行日数	全体	大人	運行日数
1月	153	122	19	409	173	19
2月	217	171	19	458	198	19
3月	180	124	21	366	187	21
4月	192	167	20	254	191	20
5月	207	171	21	238	183	20
一日平均	9.49	7.55	100	17.42	9.41	99

表. 1 月別利用者利用者数の推移

3. 系統ごとの利用状況

コース別利用者数及び、巡回バス停留所別乗降調査（5日間：H30.5.28（月）～6.1（金））及び巡回バスのドライバーに対するヒアリングを基に作成。

3.1 長南・蔵持地区コース

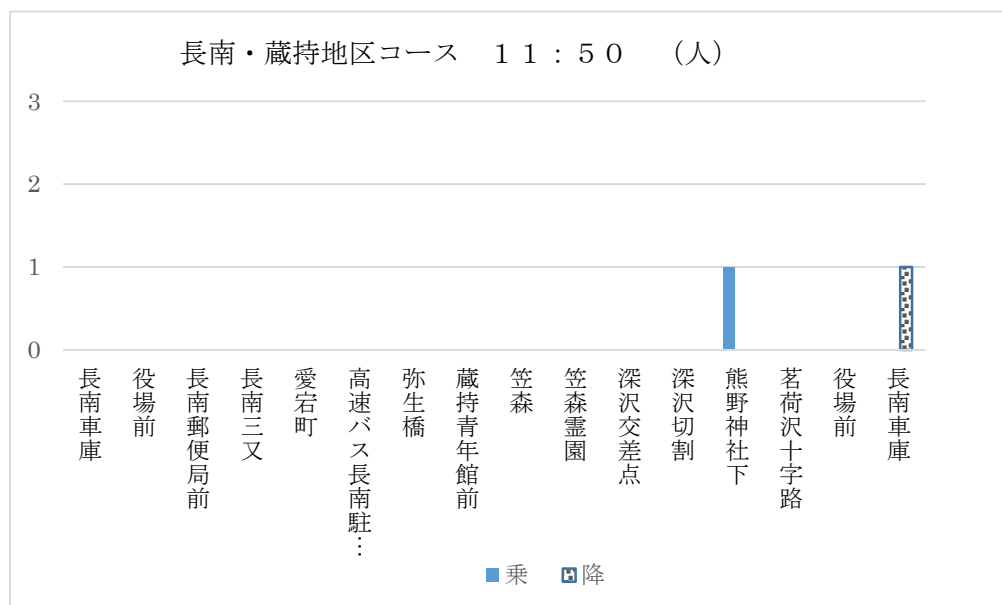
利用者数の推移

実証運行前（H29）	実証運行後	
利用者数 190人	H30.1	3人
【人／月】 21.1人	H30.2	12人
【人／日】 1.02人	H30.3	5人
	H30.4	1人
	H30.5	7人
	【人／月】	5.6人
	【人／日】	0.28人

※1月あたりの利用者数平均（人／月）は、前年度の実証運行期間を除外したH29.4.1～H29.12.28の期間の利用者数を運行月数9か月で除して算出。

※1日あたりの利用者数平均（人／日）は、前年度の実証運行期間を除外したH29.4.1～H29.12.28の期間の利用者数を運行日数186日で除して算出。

バス停留所別乗降調査





※長南町巡回バスについては、バス停留所以外の自由乗降区間での乗降客が9割以上を占めるため、自由乗降については、最寄りのバス停留所で計上している。

◆利用状況◆

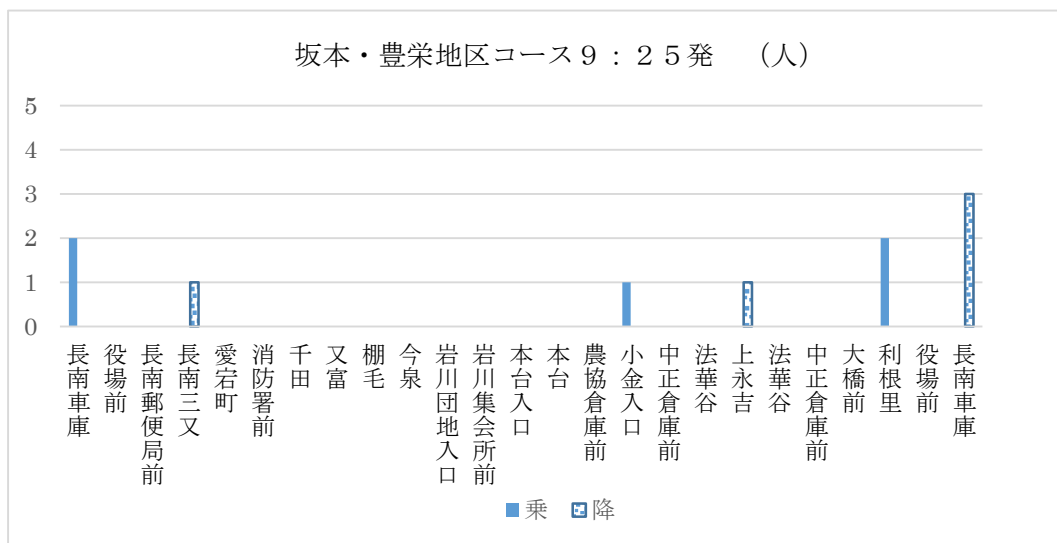
- 実証運行以前から、利用者が少ないため、生活路線だけでなく、観光路線を兼ねた経路に見直したが利用者は、減少している。
- 以前から高速バス長南駐車場から笠森霊園のまで足がないという声があり、観光路線としても兼ねられるよう運行経路・時刻を調整したが、高速バス長南駐車場からの乗降は見られない。
- 交通事業者の話しでは、横浜から来た高速バス（11:55着）と接続（巡回バス11:56着）について、目視でドライバーが着を確認している場合は、千田種子組合の倉庫の前で待機をし、高速バスが出るのを待って接続している現状もある。
- 16時15分発の便で、笠森霊園から、巡回バスを利用し、長南駐車場において横浜行の高速バスに乗るお客は、3人いた。（6月13日）。
- 巡回バスで広範囲をカバーするように、熊野神社下から茗荷沢十字路を新規区間としたが、この区間での、乗降者は見られない。

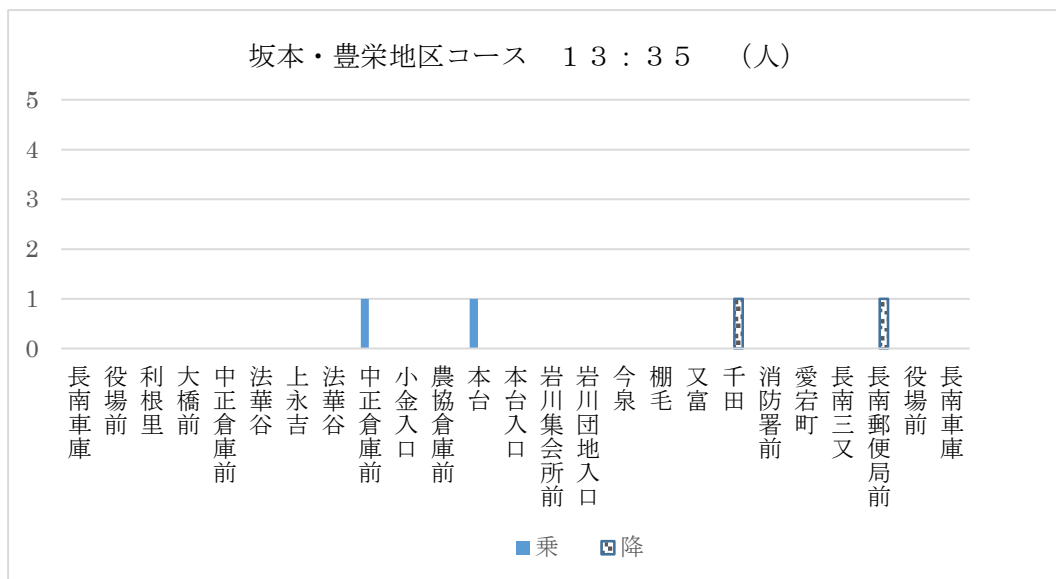
3.2 坂本・豊栄地区コース

利用者数の推移

実証運行前（H29）		実証運行後	
利用者数	176人	H30.1	10人
【人／月】	19.5人	H30.2	24人
【人／日】	0.94人	H30.3	25人
		H30.4	31人
		H30.5	18人
		【人／月】	21.6人
		【人／日】	1.08人

バス停留所別乗降調査





◆利用状況◆

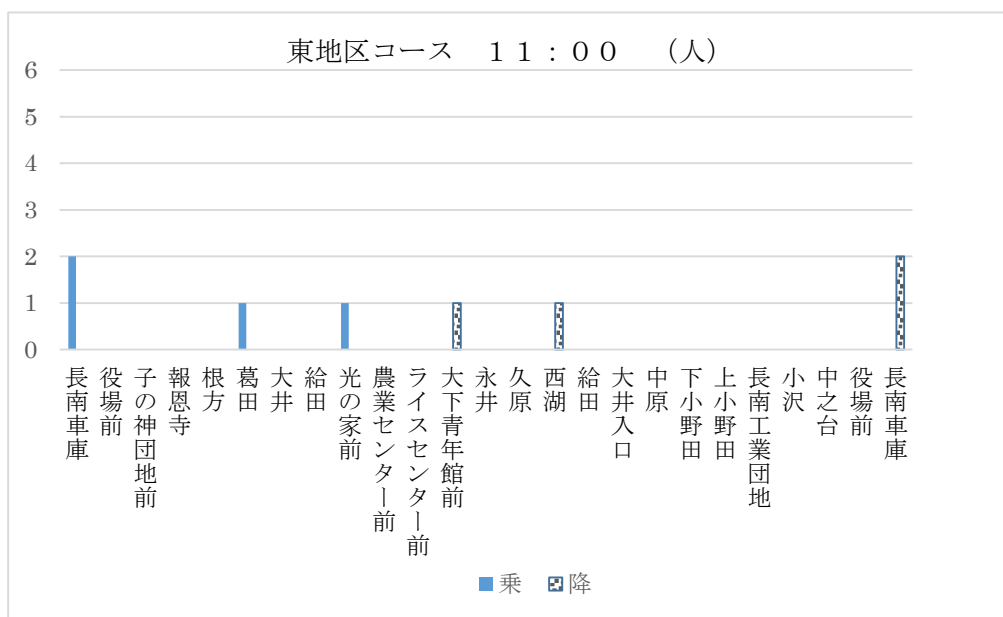
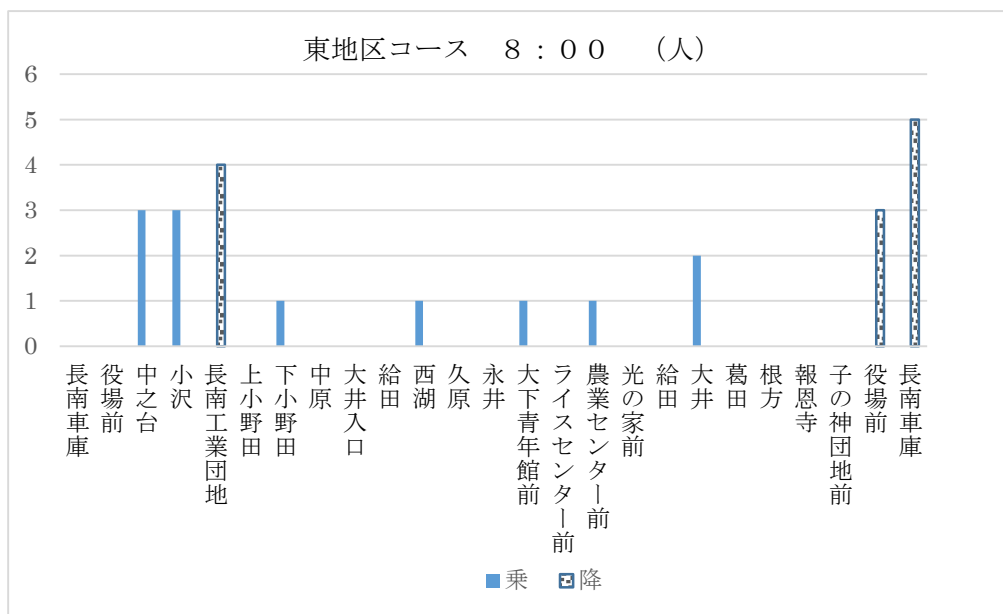
- 実証運行前より利用者数は増加している。
- 路線バス茂35系統の休止代替えとして、上永吉まで延伸させた区間（中正倉庫前～法華谷～上永吉）について、乗降客が見られ、接続、通院に利用している。
- 上永吉バス停留所において、茂原駅までの路線バス（茂原駅～大多喜線）との接続調整を実施したが、上永吉で降車する利用客が見られるようになった。
- 上永吉での接続利用は、全部の利用客が、上永吉（巡回バス上永吉着 9:53 ⇒ 路線バス茂原行 10:01）であり、午後の接続で、路線バス ⇒ 巡回バスの利用はない。

3.3 東地区コース

利用者数の推移

実証運行前 (H29)		実証運行後	
利用者数	589人	H30.1	43人
【人/月】	65.44人	H30.2	49人
【人/日】	3.16人	H30.3	37人
		H30.4	54人
		H30.5	73人
		【人/月】	51.2人
		【人/日】	2.56人

バス停留所乗降調査



◆利用状況◆

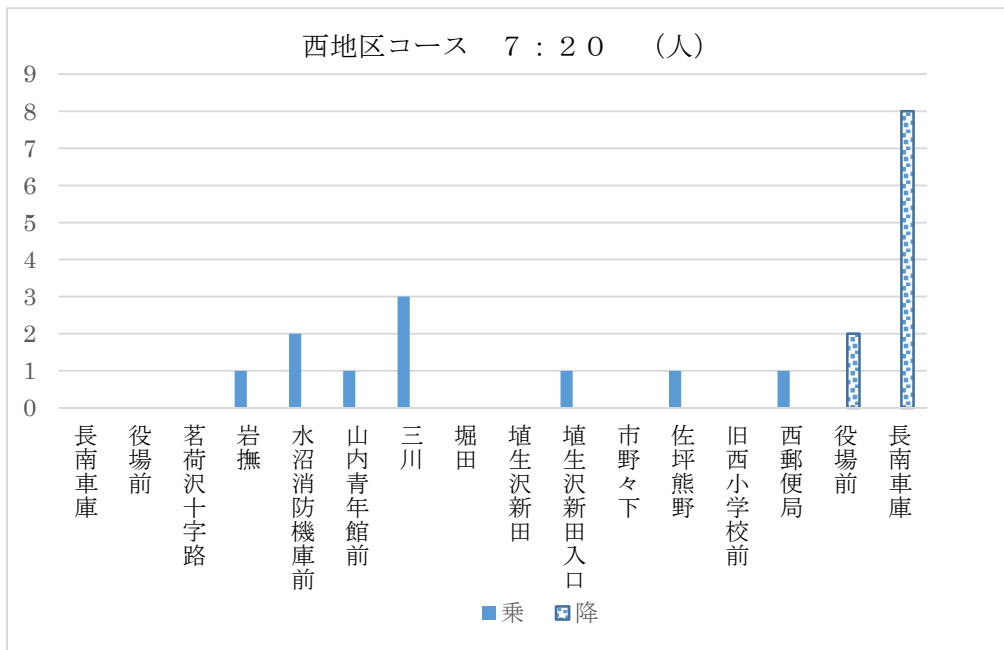
- 利用者数については、減少している。
- 接続利用について、工業団地へ通勤利用ができるように、長南車庫（路線バス7:40 着⇒巡回バス8:00 発）に調整したが、利用客はみられない。
- 小沢、中之台で乗車をして、長南工業団地へ通勤する利用客がいる。小沢、中之台までの移動手段は不明だが徒歩と思われる。
- 利用者の目的の大半は通院利用であり、長南車庫発8:00で通院し、長南車庫発11:00で帰宅する。
- 給田での、接続利用での乗降客は、見られない。

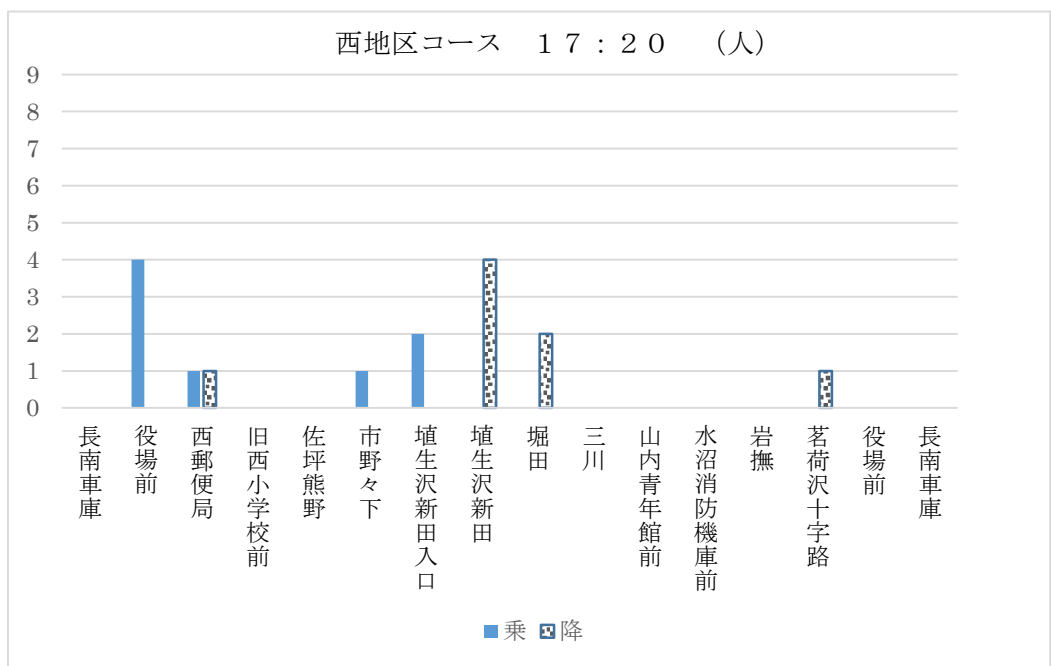
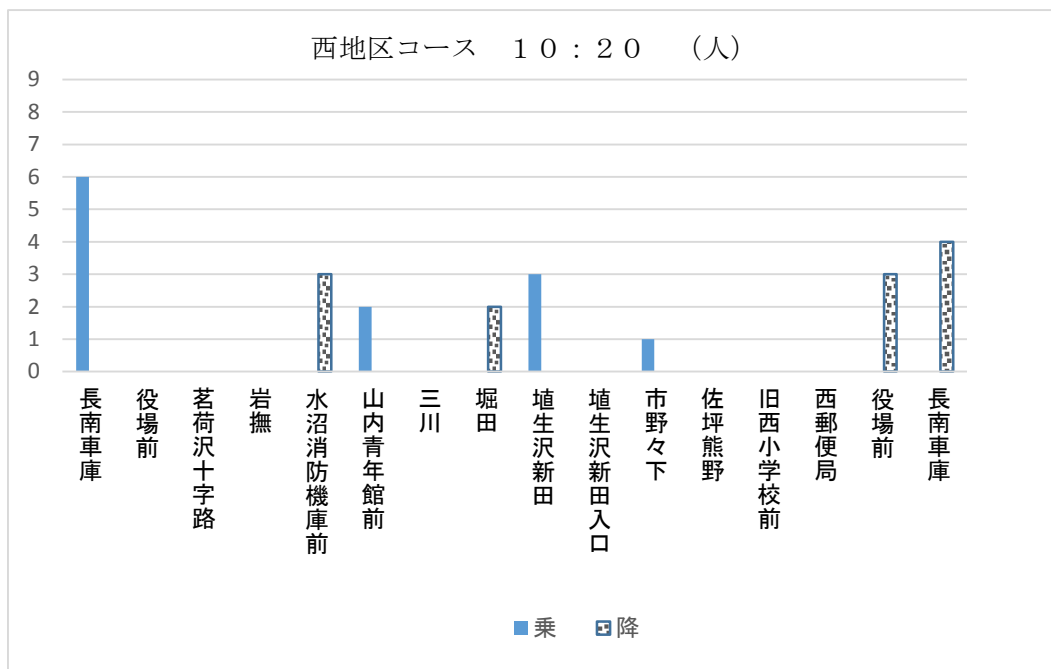
3.4 西地区コース

利用者数の推移

実証運行前（H29）		実証運行後	
利用者数	1,246人	H30.1	97人
【人／月】	138.44人	H30.2	132人
【人／日】	6.69人	H30.3	113人
		H30.4	106人
		H30.5	109人
		【人／月】	111.4人
		【人／日】	5.57人

バス停留所乗降調査





◆利用状況◆

- 利用者については、運行本数が4回から3回に減少したため減少傾向
- 利用者の目的の大半は通院利用であり、車庫発7:20で通院し、車庫発10:20で帰宅する。
- 生徒の通学・帰宅利用は、実人数だと5人程度の利用客が利用している。
- 長南車庫発17:05の便では、路線バス（茂原か牛久）⇒巡回バスで帰宅する利用者がいる。
- 17:05分の便では、茗荷沢十字路で降りて、橙季へ行く人の利用もみられる。

4. 今後の進め方

○一部運行時刻の調整

本格運行の際は、長南・蔵持地区コースについては、高速バス長南駐車場での接続（高速バス：11：55分着 ⇒ 巡回バス11：56分発）の状況から運行時刻を調整する必要がある。

○利用促進策（運賃・料金の変更）の検討

例) 回数券や年間定期券の導入

◆長南町地域公共交通活性化協議会の役割◆

一般乗合旅客事業自動車運送事業に係る運賃・料金は、上限運賃の認可制ですが、地域公共交通会議における合意によって、届出でもってたりる。

表. 運賃の種類

運賃の種類	手続き	運行の態様
上限運賃	認可された上限運賃の範囲内において実施運賃を届出	路線定期運行のみ
協議運賃	協議運賃の届出	路線定期運行 路線不定期運行 区域運行